

杏林大学大学院保健学研究科

平成29年度秋学期 在学生による研究報告会プログラム

12月14日(木) B206マルチルーム(三鷹キャンパスとの中継あり)

発表時間:修士は報告10分、質疑7分(計17分)／博士は発表15分、質疑10分(計25分)

時間	No.	演者	分野	指導教員	題名	座長
9:00- 9:05		大瀧研究科長 開会の辞				
9:05- 9:22	1	保修2S 鈴木 里奈	リハビリテーション科学	齋藤(昭)教授	超音波診断装置を用いた大腰筋の機能評価に関する研究	山本(智)教授
9:22- 9:39	2	保修2S 遠藤 祐太	診療放射線学	橋本教授	急性期脳梗塞描出能向上を目指したDual energy CT 技術による基準物質密度画像作成の最適化に関するシミュレーション的検討	山本(智)教授
9:39- 9:56	3	保修2S 川村 竜太郎	診療放射線学	橋本教授	MRIの高速撮像における圧縮センシング技術の応用	山本(智)教授
9:56- 10:13	4	保修2S 清水 藍里	診療放射線学	黒木教授	非造影MRIによる乳がん描出能に関する基礎的検討 —特異度向上に関する検討—	山本(智)教授
10:13- 10:30	5	保修2S 大木 翔太	臨床検査 生命科学	大迫教授	嗅覚系に対するストレスの影響	山本(智)教授
10:30- 10:40		休憩				
10:40- 10:57	6	保修2S 柏木 ともか	臨床工学	四倉教授	電気的インピーダンスを用いたシャント血流量測定システムの基礎的研究	大迫教授
10:57- 11:14	7	保修2S 澤田 祐紀	臨床工学	四倉教授	赤外線ハロゲンランプを用いた低侵襲組織凝固装置の基礎的研究	大迫教授
11:14- 11:31	8	保修2S 瀬 詰 佳奈	臨床工学	四倉教授	皮膚感覚の誘発と定量化を目的とした複合的な電気刺激に関する基礎的研究	大迫教授
11:31- 11:56	9	保博4S 内田 賢一	リハビリテーション科学	八並教授	健常高齢者の呼吸機能の縦断的变化とレジスタンストレーニングの介入効果に関する研究	大迫教授
11:56- 12:00		休憩				
12:00- 12:30	10	近藤 知子 教授	特別講義「日々の生活を作るものとしての作業：作業科学の視点」			八並教授
12:30- 13:30		お昼				
13:30- 14:00	11	山田 慎 教授	特別講義「起立補助器具の開発について」			八並教授
14:00- 14:25	12	保博4S 太田 智裕	リハビリテーション科学	齋藤(昭)教授	回復期脳卒中者における下肢装具の適用に関連する動作能力の特性と下肢装具が動作能力へ及ぼす影響の検証	八並教授
14:25- 14:50	13	保博4S 清水 夏生	リハビリテーション科学	齋藤(昭)教授	回復期脳卒中者における歩行能力に応じた活動量の特性と活動量が生活機能の改善に及ぼす影響	八並教授
14:50- 15:15	14	看博2S 百成 香帆	実践看護科学	松岡教授	移行期にある早産児のポジショニング実施の効果	亀崎教授
15:15- 15:40	15	看博4S 伊藤 有美	実践看護科学	中島(恵)教授	人工呼吸管理中の重症患者における病態に応じた疼痛評価の検討	亀崎教授